

第4回榑葉町職員不祥事の 再発防止に関する 第三者委員会 説明資料

日時：令和4年7月29日（金）

午前9時30分～

場所：榑葉町役場本庁舎3階大会議室

1. 委員から頂いた主なご意見ご質問①

(1)これまでの整理の補足事項

- ・職員の休暇取得を促進することで、担当者が不在でも他の職員が代わりに事務を行える。
働き方改革及び不正防止の観点からも重要
- ・組織としての管理体制について、制度があっても運用が適正では無かった。
- ・3年程度の人事異動を行うことで、不祥事を防げた可能性もある。

(2)再発防止策について

- ・適正な事務執行等に関しては、リスクマネジメント委員会の設置等も考えられる。
- ・組織の持つ長期的なビジョン遂行にあたって、個人の意欲を向上させ、自覚を高めつつ、適正な仕事を行っていくことが行動規範に繋がる。
- ・事務処理の見える職場環境が必要。

1. 委員から頂いた主なご意見ご質問②

(2)再発防止策について ※続き

- ・風通しの良い職場とするためには、監視では無く、カバーし合うチームワークが重要。
- ・悪いことをやらないように締め付けるのではなく、良いことをやるように動機づける方向性と、そのための方法論が大事。
- ・組織としては、職員が業務改善に参加する機会を与えることが必要で、職員としては、町の計画の実行を意識して日常の業務に当たることが重要。
- ・グループ討議による問題解決の研修等を行うことで職員の意識やコミュニケーション能力が高まる。
- ・自治体であっても、給料や昇給といった要素は勤務意欲に影響する。制度整備が必要。
- ・ミーティングの徹底も大事だが、堅苦しいものでは逆に風通しが悪くなる。雰囲気づくりが大事。

1. 委員から頂いた主なご意見ご質問③

(3) その他

- ・度重なる不祥事が発生した以上、役場としては町民の信頼回復が責務。そのためには透明性の確保や、町民と接する際の接遇が重要となる。

(4) 報告書、今後のスケジュールについて

- ・報告書作成にあたっては、簡潔明瞭に。要点を押さえ、わかりやすくすることが大事。
- ・第三者委員会最終の第5回会議についても、単なる報告書の提出ではなく、報告書修正の可能性も含んだ委員の確認の場としたい。

2. 報告書の考え方

- なぜ第三者委員会が組織されたのか？
→役場による不祥事の原因究明、再発防止策の検討だけではなく、専門的知見を有する第三者からの視点を必要としたため



【報告書に求められること】

- ① 第三者としての客観的な検証と分析、町への提言
- ② 町民や議会等の外部だけではなく、提言を受ける町役場職員を含めた誰もがわかりやすい、要点を押さえた体裁

3. 今後のスケジュールと進め方

令和4年4月20日	第1回第三者委員会	委嘱状交付、町からの諮問、不祥事に係る現状報告
5月27日	第2回第三者委員会	・新たな不祥事の発生と問題点の整理 ・第1回会議を踏まえた状況の整理、問題点の深堀
6月29日	第3回第三者委員会	再発防止策の検討
7月29日	第4回第三者委員会	報告書案の検討
8月中～下旬	第5回第三者委員会	報告書の最終確認、町への答申